

事業名	水産資源調査・評価推進委託事業（生物情報収集調査）
予算区分	水産研究費（受託研究費）
事業実施期間	令和5年（継続実施）
担当者	木本翔、住友寿明、石川陽子
共同研究機関等	水産資源調査・評価推進委託事業共同実施機関

〈目的〉

国連海洋法条約の発効に伴い、我が国周辺水域内の水産資源の有効利用及び管理を行うために必要な情報を収集することを目的とし、水産資源調査・評価推進委託事業の一環として、漁獲物の体長組成及び成熟状況等を調査した。

〈方法〉

1. 市場調査

船びき網3統（長原漁協1統、和田島漁協1統、阿南漁協1統）の漁獲サンプルを採取し、カタクチイワシシラスの全長組成及びしらす類の漁獲割合を調査した。

2. 体長組成調査

標本漁協において、マアジ及びさば類については尾叉長を、いわし類については被鱗体長を、アオリイカについては外套長を測定した。標本漁協及び測定を実施した魚種については次のとおり。

- ① 椿泊：マアジ、さば類
- ② 穴喰：マアジ、いわし類、アオリイカ
- ③ 鞆浦：アオリイカ

なお、椿泊漁協へは、2023年7月から2024年3月まで毎月訪問し、マアジは毎月、さば類は2023年9～11月及び2024年1月に測定を実施した。穴喰漁協へは、2023年8月から2024年3月まで毎月訪問し、マアジは2023年8～9月、2023年11月及び2024年2月、ウルメイワシは2024年2月、カタクチイワシは2024年2～3月、アオリイカは2023年9～12月に測定を実施した。鞆浦漁協のアオリイカについては、2023年10月から2024年3月の6か月間、大型定置網でアオリイカの水揚げがあった場合、外套長の測定及び雌雄の判別を依頼した。

〈結果〉

1. 市場調査

カタクチイワシシラスの全長組成については図1に、しらす類の漁獲割合については図2に示した。

2. 体長組成調査

マアジの尾叉長組成を図3に、さば類の尾叉長組成を図4に、いわし類の被鱗体長組成を図5に、アオリイカの外套長組成を図6に、アオリイカの雌雄判別の結果を図7に示した。

〈今後の課題〉

特になし。

〈次年度の計画〉

継続する。

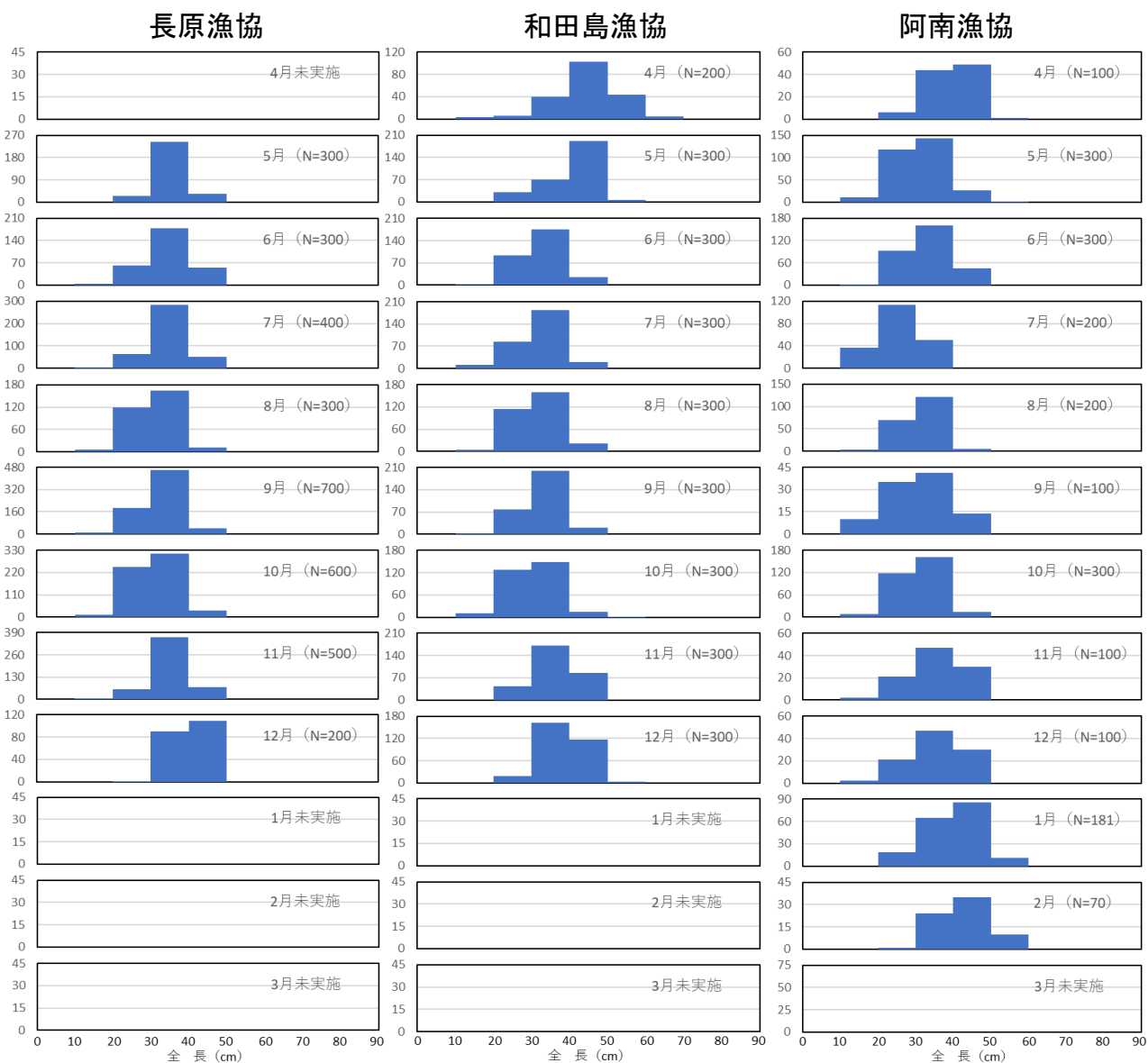


図1 各漁協で漁獲されたカタクチワシシラスの全長組成

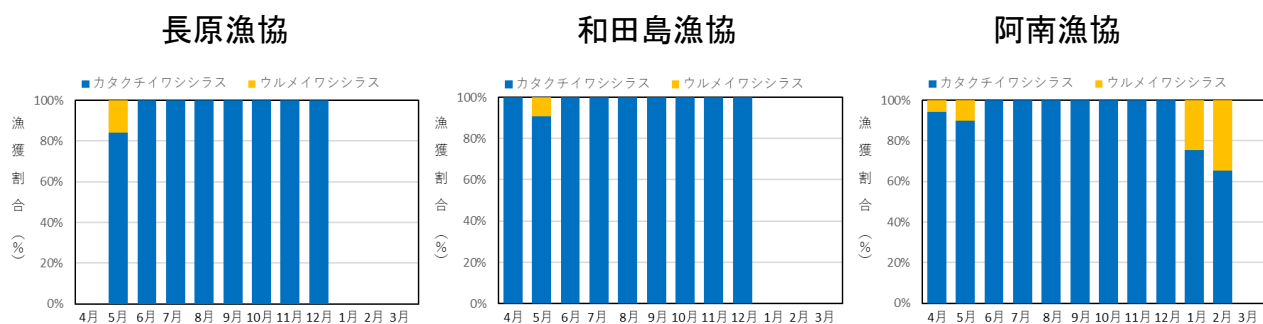


図2 各漁協で漁獲されたしらす類の漁獲割合

樺泊漁協

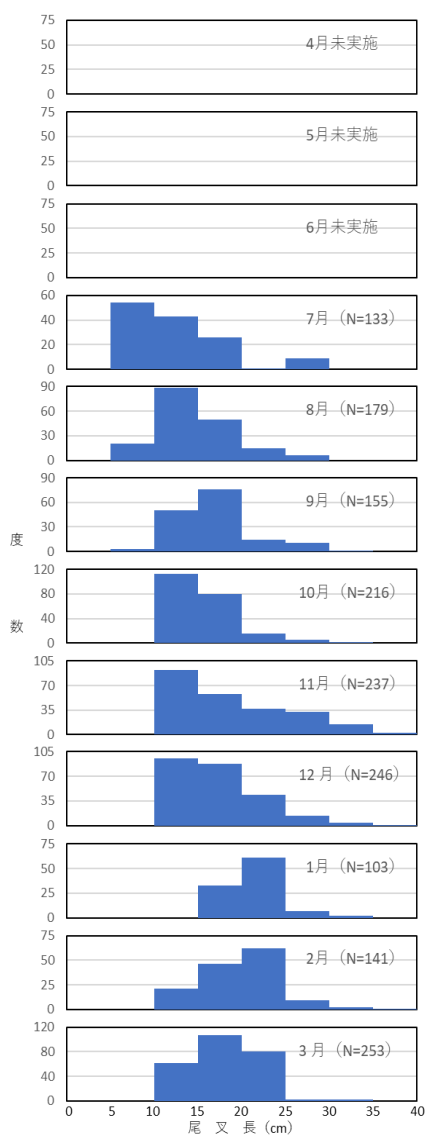
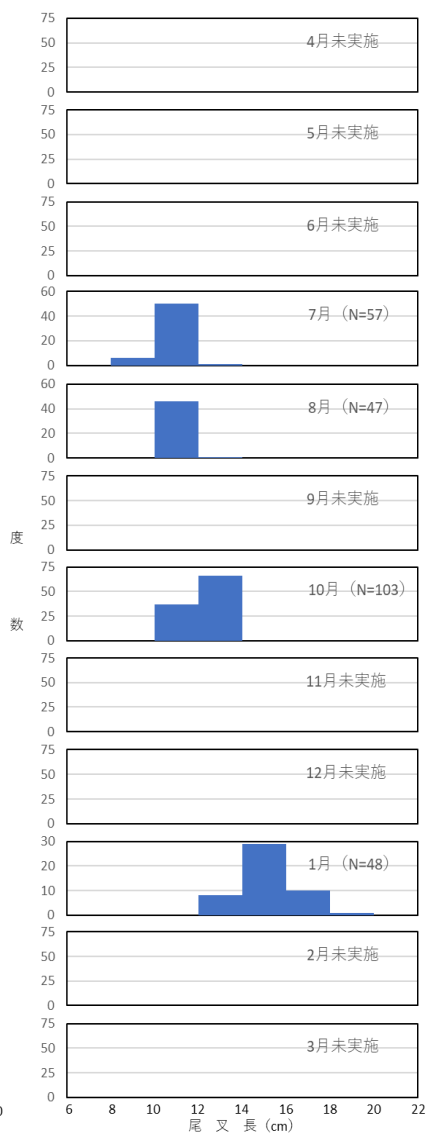


図3 各漁協で漁獲されたマアジの尾叉長組成

穴喰漁協



樺泊漁協

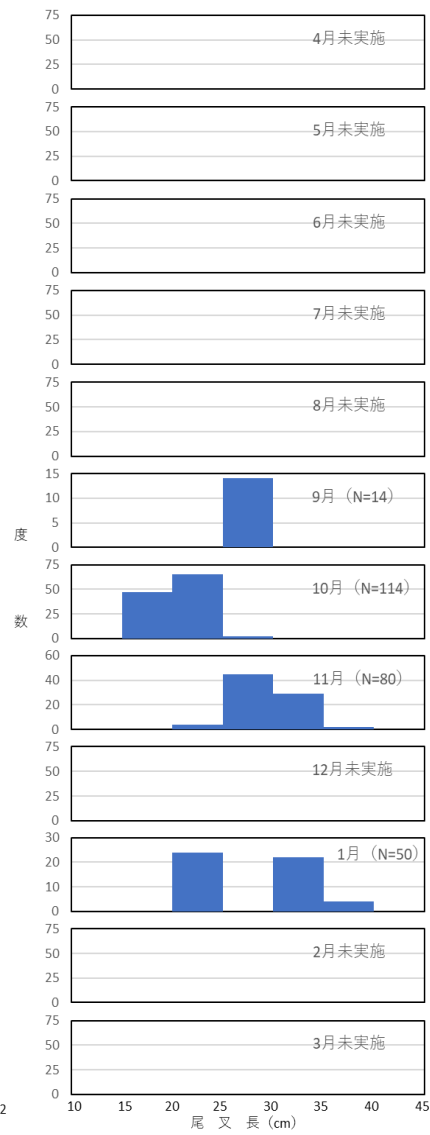


図4 さば類の尾叉長組成

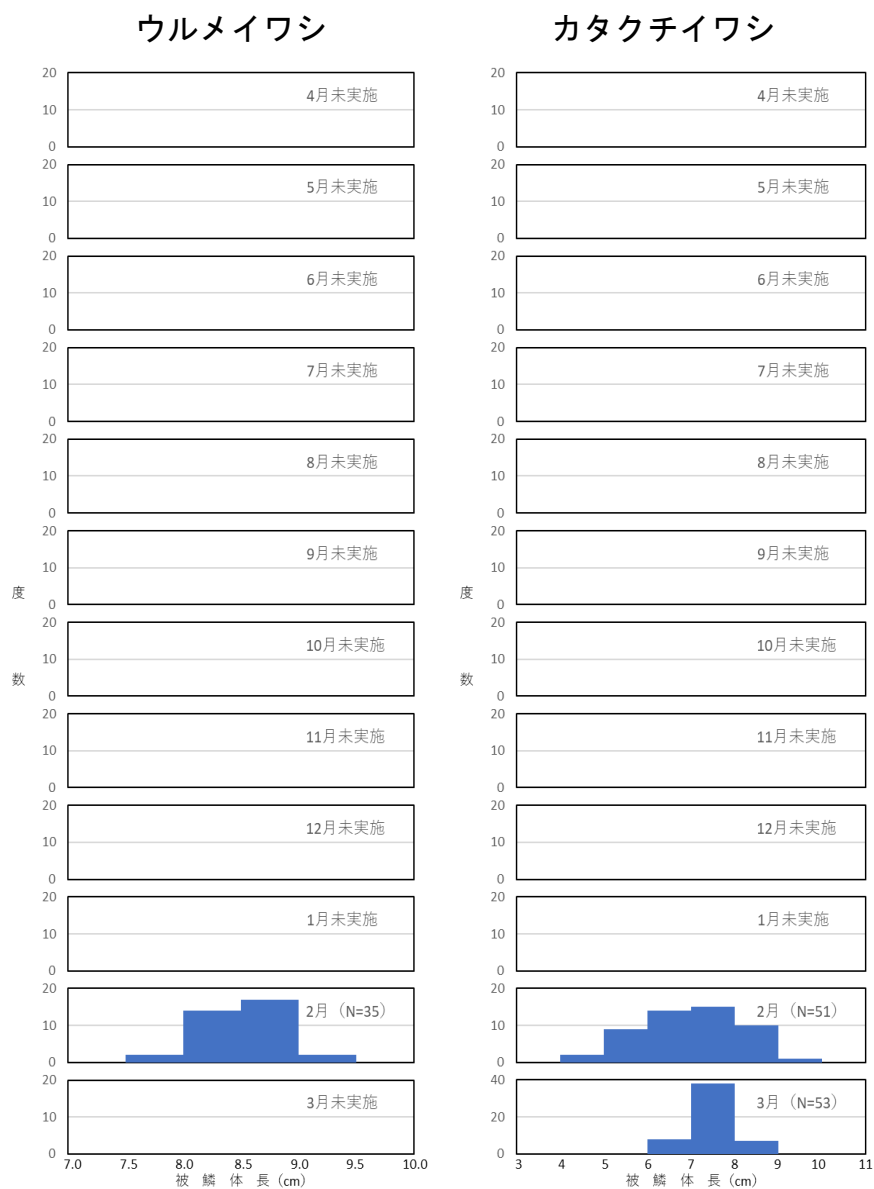


図5 宍喰漁協で漁獲されたいわし類の被鱗体長組成

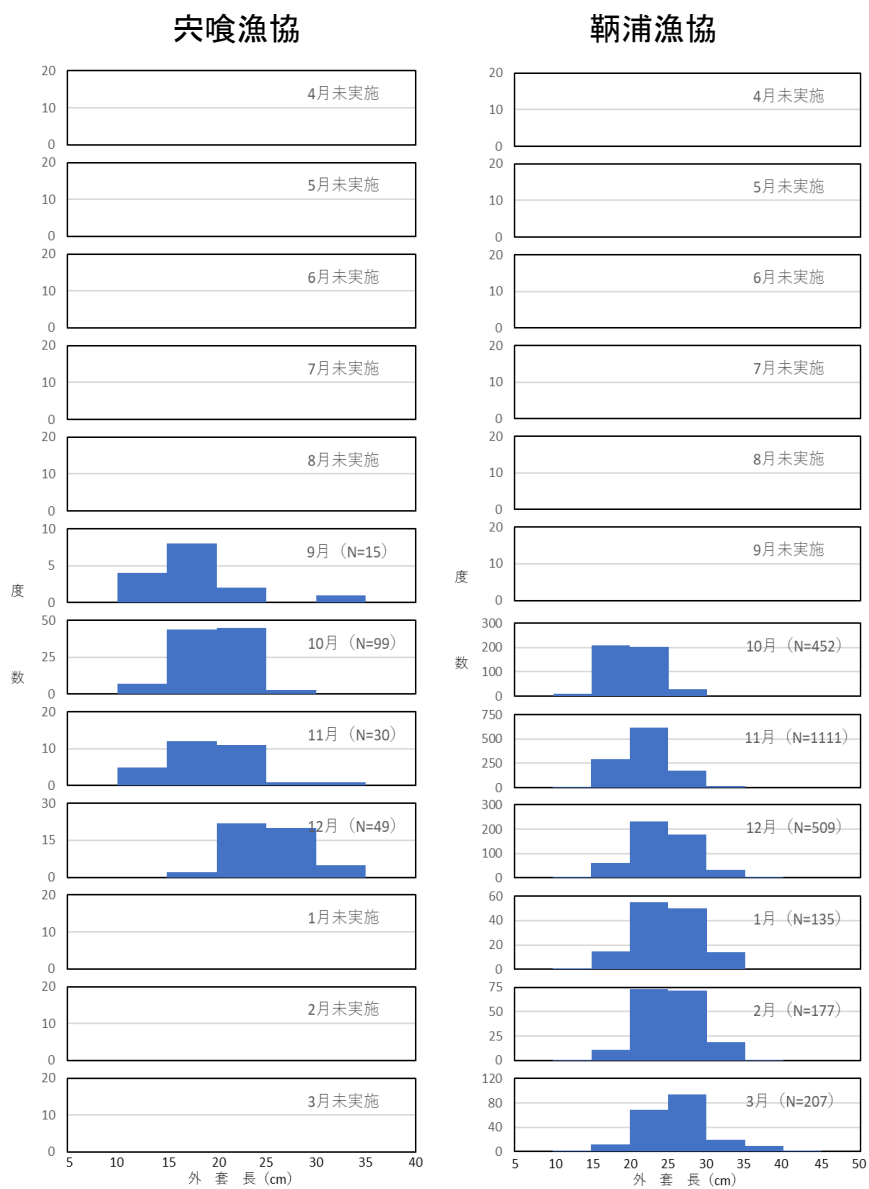


図6 各漁協で漁獲されたアオリイカの外套長組成

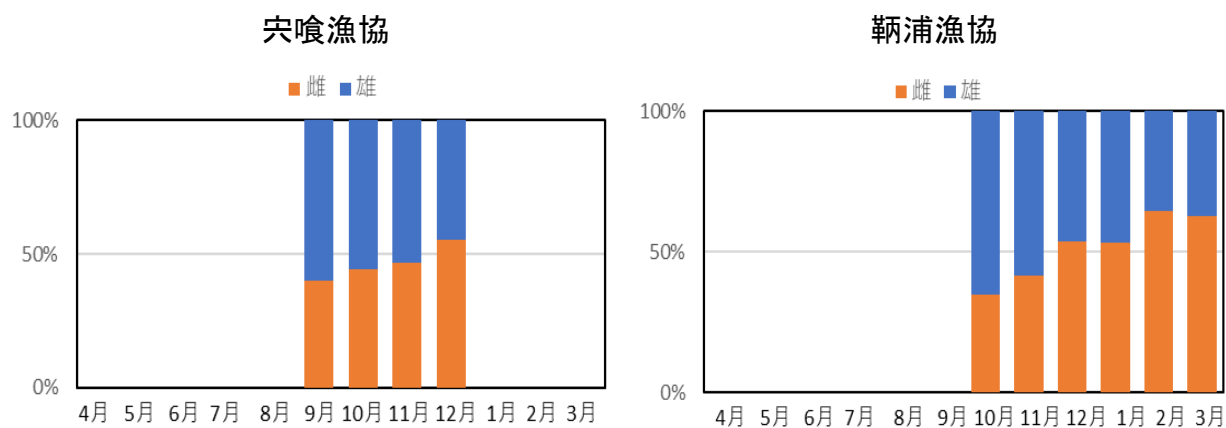


図7 各漁協で漁獲されたアオリイカの性比